# Ⅰ．設　計　条　件

この課題は、ある都市の市街地にある敷地に、歴史的建造物として親しまれてきた建築物の一部を残したもの(以下「既存部」という。)を活用して、シティホテルを計画する。

計画に当たっては、特に、次のことが求められている。
(1) 新設部の設計と既存部を改修する設計を行うものであり、新設部と既存部は、１階及び２階で接続させて行き来できるように計画
(2) 宿泊部門、宴会部門及び管理・共用部門を、客の利用形態に応じて適切にゾーニングし、明快な動線計画
(3) 客の多様性及び宿泊部門のセキュリティへの配慮

## １．敷地及び周辺条件

(1) 敷地の形状、接道条件、周辺状況等は、「敷地図」のとおりである。
(2) 敷地は平坦で、敷地と、道路・歩行者専用道路の路面の中心、隣地及び道路・歩行者専用道路の反対側の敷地には、高低差はない。また、歩道の切り開きは、１か所(６ｍまで)のみ可能である。
(3) 敷地及びその周辺は、準住居地域(隣地高さ制限における斜線勾配は1.25とする。)及び準防火地域に指定されている。また、建蔽率の限度は70%(所定の加算を含む。)、容積率の限度は300%である。
これら以外に、地域、地区等及び特定行政庁による指定、許可等並びに日影による中高層の建築物の高さの制限はない。
(4) 電気、ガス及び上下水道は完備している。
(5) 地盤は良好であり、杭打ちの必要はない。
(6) 気候は温暖であり、積雪についての特別の配慮はしなくてよい。また、水害の危険がない地域である。

## ２．建　築　物

(1) 構造種別は自由とし、地上５階建ての１棟の耐火建築物とする。
(2) 既存部については、耐震改修が既に行われており、主要構造部は撤去してはならないものとする。(設備配管の小開口は除く。)
(3) 「高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律」に規定する「建築物移動等円滑化基準」を満たすものとする。ただし、エントランスホールに設ける２階へ通じる開放的な階段は、幅1,400㎜以上、蹴上げ160㎜以下、踏面300㎜以上とする。
(4) 要求室等は、右表のとおりである。

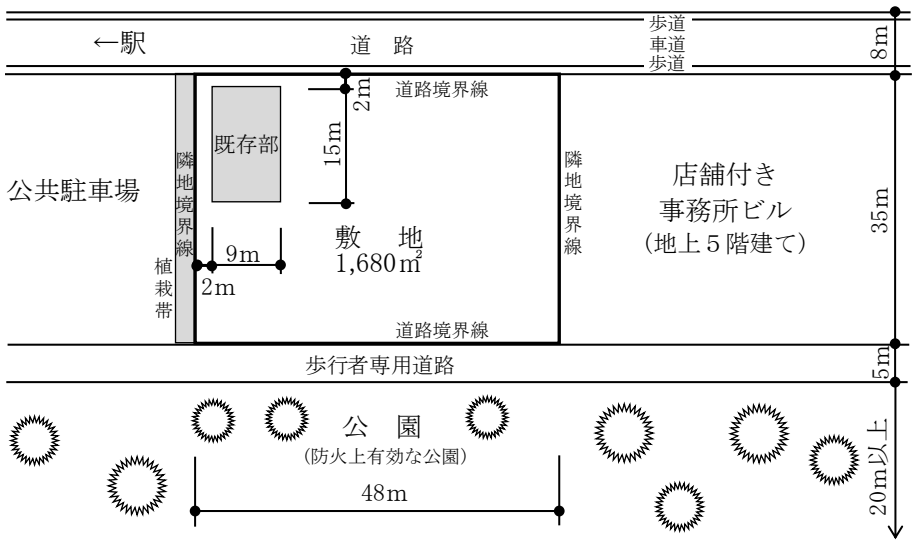
## ３．その他の施設等

(1) 駐車場は、次のとおり計画する。
　① 車椅子使用者用として１台分、サービス用として２台分のスペースを設ける。なお、建築物内に設けてもよい。
　② 客用及び従業員用の駐車場は、敷地西側にある公共駐車場を利用する。
(2) 植栽を計画し、屋外ファニチャーを適切に設ける。

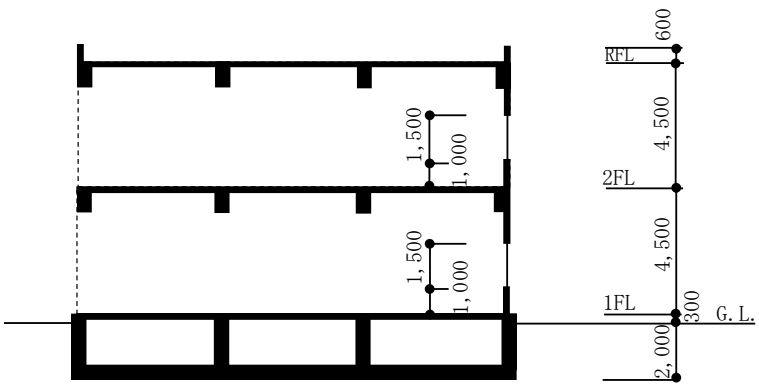
## ４．留　意　事　項

(1) 構造計画については、次の点に留意して計画する。
　① 基礎構造については、地盤条件や経済性を踏まえ適切に計画する。
　② 耐震性や経済性に配慮し、架構を計画する。
(2) 設備機器の搬出入、更新及びメンテナンスに配慮する。
(3) 延焼ライン(建築物の延焼のおそれのある部分の位置)を記入する。必要に応じて、延焼ライン及び防火区画(面積区画、竪穴区画等)に要求される所定の防火設備を適切に計画する。
(4) 地上に通じる２以上の直通階段を適切に計画する。必要に応じて、「敷地内の避難上必要な通路」を適切に計画する。
(5) 計画に際し、「天空率に関する規定の計算」及び「避難上の安全の検証」は行わないものとする。

商業施設
(地上４階建て)




敷地図　縮尺＝1/1,000



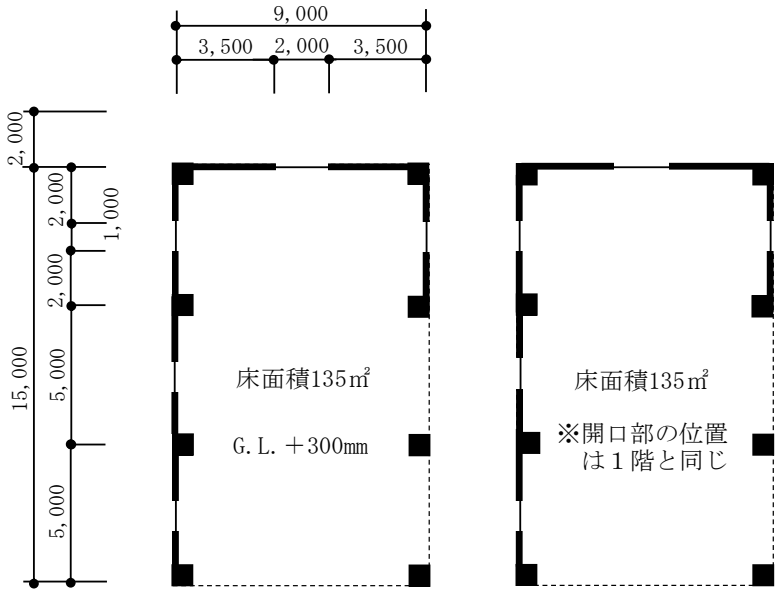

南－北断面図

要求室等(下表の室等は、新設部又は既存部のいずれかに全て計画する。)

| 部門 | 室名等 | 特記事項 | 床面積 |
|---|---|---|---|
| 宿泊部門 | ・全ての客室及びリネン室は、基準階(３階から５階)の各階に設ける。 | | |
| | 客室Ａ | ・計18室以上計画する。<br>・洋室(定員２人)とし、ベッドを２台設ける。<br>・浴室、洗面所及び便所を設ける。<br>・バルコニーを設ける。<br>・間口は、心々４ｍ以上を確保する。 | 1室当たり30㎡以上 |
| | 客室Ｂ | ・計３室以上計画する。<br>・車椅子使用者用客室とする。<br>・便所、浴室又はシャワー室を設ける。<br>・その他特記事項は、客室Ａと共通とする。 | 1室当たり30㎡以上 |
| | 客室Ｃ | ・計12室以上計画する。<br>・洋室(定員１人)とし、ベッドを１台設ける。<br>・浴室、洗面所及び便所を設ける。 | 1室当たり18㎡以上 |
| | リネン室 | | 適宜 |
| 宴会部門 | 宴会場 | ・結婚披露宴やパーティー等に利用する。<br>・天井高は6.5m以上とする。<br>・整形な無柱空間とする。<br>・倉庫(*床面積には含まない。)を設ける。 | 200㎡以上* |
| | パントリー | ・宴会場へのサービス動線を確保する。 | 50㎡以上 |
| | ホワイエ | ・宴会場に隣接させる。<br>・受付スペース、ソファ等を設ける。 | 120㎡以上 |
| | 会議室 | ・親族等の控室としても利用する。<br>・移動間仕切り等で２室に分割可能とする。 | 60㎡以上 |
| | 結婚式場 | | 60㎡以上 |
| | 美容室 | ・新郎新婦や列席者のヘアメイク等を行う。 | 25㎡以上 |
| | 着付室 | ・新郎新婦や列席者の身支度等を行う。 | 25㎡以上 |
| | 衣装室 | ・ウエディングドレス、タキシード、留袖、モーニング等の試着等を行う。 | 25㎡以上 |
| 管理・共用部門 | エントランスホール | ・道路側(北側)及び歩行者専用道路側(南側)からアプローチできるようにする。<br>・１階と２階の空間の連続性に配慮して、２階へ通じる開放的な階段を設ける。<br>・風除室を設ける。 | 適宜 |
| | フロント | ・受付カウンター、クロークを設ける。 | 適宜 |
| | 事務室 | ・執務スペース(８人分)を設ける。<br>・支配人の執務スペースを設ける。 | 適宜 |
| | ラウンジ | ・テーブル、ソファ、ドリンクコーナー等を設ける。 | 90㎡以上 |
| | レストラン | ・テーブル、椅子(50席程度)、レジカウンター等を設ける。<br>・厨房(35㎡以上)及び食品庫(10㎡以上)を設ける。 | 適宜 |
| | バー | ・バーカウンター、テーブル、ソファ等を設ける。 | 40㎡以上 |
| | ショップ | ・歴史的建造物の関連グッズも販売する。<br>・陳列棚、レジカウンター等を設ける。 | 40㎡以上 |
| | 従業員休憩室 | ・男性用及び女性用の更衣スペースを設ける。 | 適宜 |
| | 防災備蓄倉庫 | | 20㎡以上 |
| | ゴミ保管庫 | | 適宜 |
| ・その他ホテルの運営管理等に必要な室等を、適切に設ける。 | | | |
| 設備 | 設備室 | ・受水槽、貯湯槽及び給水ポンプ等を設ける。 | 70㎡以上 |
| | 消火ポンプ室 | ・屋内消火栓用とする。 | 15㎡以上 |
| | ・電気設備(キュービクル)、太陽光パネルを屋上に設置する。<br>・空調室外機、PS、DS、EPS等を、適切に設ける。<br>・外気処理空調機を設ける。<br>・エレベーターは、客用とサービス用を別に設ける。<br>・採用した設備計画に応じて、機械室等を適切に設ける。 | | |
| ・その他必要な室等は、適切に設ける。<br>・什器等を、適宜設ける。 | | | |

**既存部**

・鉄筋コンクリート造　・地上２階建て
・建築面積：135㎡　・延べ面積：270㎡
・建築物の高さ：9.9m　・１階床高：G.L.＋300㎜
・柱：800㎜×800㎜　・大梁：500㎜×900㎜
・スラブ：200㎜　・壁：200㎜




１階平面図　２階平面図

(注) １階平面図及び２階平面図において点線で示す部分は、新設部と接続させることができる位置を示す。

既存部別図　縮尺＝non-scale

# Ⅱ. 要 求 図 書

答案用紙Ⅰ及び答案用紙Ⅱの定められた枠内(寸法線については枠外でもよい。)に、黒鉛筆を用いて記入する。

## 1. 要 求 図 面（答案用紙Ⅰに記入）

**「Ⅰ. 設計条件」の要求等を満足したことを明示**したうえで、下表に示す事項を図示又は記入して、図面を作成する。(フリーハンドでもよい。)

ほかにも計画上で工夫、配慮した事項について、図面上に什器等を記入して表現し、簡潔な文章や矢印等により補足して明示する。

| 図面及び縮尺 | 特　記　事　項 |
|---|---|
| (1) 1階平面図・配置図 1/200<br>(2) 2階平面図 1/200<br>(3) 基準階平面図 1/200 | ① 各平面図には、次のものを図示又は記入する。なお、既存部は、「既存部別図」に、壁、出入口、開口部等を設けたものを図示する。<br>イ. 主要寸法、床面積、室名等(客室A、客室B及び客室Cの表示は下記ホ、ヘ、トによる。)、什器等<br>ロ. 延焼ライン(建築物の延焼のおそれのある部分の有無にかかわらず必ず記入する。)と防火設備<br>ハ. 防火区画に用いる防火設備の位置及び種別<br>ニ. 断面図の切断位置<br>ホ. 客室Aの室名(A1、A2、…)及び各室の出入口<br>ヘ. 客室Bの室名(B1、B2、…)及び各室の出入口<br>ト. 客室Cの室名(C1、C2、…)及び各室の出入口<br>チ. 客室Aの室内プラン(1室)<br>リ. 客室B(車椅子使用者用客室)の室内プラン(1室)<br>ヌ. 客室Cの室内プラン(1室)<br>ル. エキスパンションジョイントの位置(一点鎖線で明示する。)<br>ヲ. スロープ(ある場合のみ)及びその勾配<br>② 1階平面図・配置図には、次のものを図示又は記入する。<br>イ. 建築物の出入口(▲で表示)<br>ロ. 駐車場(台数及び出入口を明示する。)、植栽及び屋外ファニチャー等<br>ハ.「敷地内の避難上必要な通路」の経路と幅<br>ニ. 歩道の切り開き位置<br>ホ. 建築物から敷地境界線までの最小後退距離<br>③ 2階平面図には、次のものを図示又は記入する。<br>イ. 居室の最も遠い位置から2の直通階段に至る歩行経路、その一に至る歩行距離及び重複区間の長さ<br>ロ. 1階の屋根、庇等<br>④ 基準階平面図には、次のものを図示又は記入する。なお、基準階平面図は3階を作成する。<br>イ. 居室の最も遠い位置から2の直通階段に至る歩行経路、その一に至る歩行距離及び重複区間の長さ<br>ロ. 2階の屋根、庇等<br>ハ. 塔屋部分の位置(破線で図示する。) |
| (4) 南－北断面図 1/200 | ① 切断位置は、南北方向とし、宴会場を含み、建築物の立体構成が分かるように図示する。なお、水平方向及び鉛直方向の省略は行わない。<br>② 建築物の最高高さ、塔屋を除く建築物の高さ、階高、天井高、床高及び主要な室名等を記入する。<br>③ 高さ制限への適合が確認できる情報(道路斜線、斜線勾配、最小後退距離、計算式等)を記入する。<br>④ 基礎(切断位置に現れない場合には、破線で図示する。)、壁、梁及びスラブの断面を図示する。<br>⑤ 塔屋及び屋上設備スペースを図示する。(切断位置に現れない場合には、破線で図示する。) |

## 2. 面　積　表（答案用紙Ⅰに記入）

(1) 建築面積(既存部を含む。)の算定式及び合計を記入する。
(2) 各階の床面積(既存部を含む。)の算定式及び合計、床面積の合計を記入する。
この課題の床面積の算定においては、ピロティ、塔屋、バルコニー(外気に有効に開放されているものに限る。)、屋外階段及び屋上設備スペースは、床面積に算入しない。ただし、ピロティ等を屋内的用途に供するもの(駐車場、設備スペース等)については、床面積に算入する。

## 3. 計画の要点等（答案用紙Ⅱに記入）

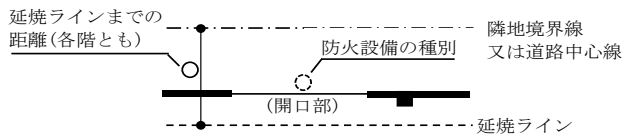
要求図面では表せない建築物の計画上の要点等について、次の(1)～(7)を具体的に記述又は図示する。(フリーハンドでもよい。)

(1) 歴史的建造物の一部を活用するに当たり、次の①、②の観点から考慮したこと
① 1階における既存部の活用方法と設い(インテリア、什器等)
② 2階における既存部の活用方法と設い(インテリア、什器等)
(2) 客室B(車椅子使用者用客室)の計画において、次の①～③の観点から考慮したこと
① 段差のない仕様
② 室内プラン
③ 防音対策
(3) 宴会部門の計画において、客の利用形態の観点からゾーニング・動線計画について考慮したこと
(4) 宴会場の天井等落下防止対策について考慮したこと
(5) 新設部と既存部を1階及び2階で接続するうえで、エキスパンションジョイントの計画について考慮したこと(考え方が分かる図やイラスト等(フリーハンドでもよい。)を【イメージ図等記入欄】に記入し、考慮したことを図中に示す。)
(6) 宴会場に採用した空調方式と、採用した理由及び配慮したこと
(7) 基準階の廊下等の排煙計画について考慮したこと

**防火設備等の凡例**

柱、壁、開口部等を明確に作図し、防火設備の種別等の表示については、必要な箇所に**全て**記入すること

【延焼ライン(建築物の外壁の開口部で延焼のおそれのある部分の位置)と防火設備】




**延焼ライン**を破線で図示し、隣地境界線又は道路中心線から延焼ラインまでの**距離**を記入すること
また、建築物の外壁の開口部で、延焼のおそれのある部分の開口部に要求される所定の防火設備の**種別**を記入すること

【防火区画に用いる防火設備の位置及び種別】

防火区画(面積区画、竪穴区画等)に応じて、要求される所定の防火設備の**位置**及び**種別**を記入すること

【防火設備の表示】

| 特定防火設備 | ㊨ | 建築基準法第2条第九号の二 ロ に規定する防火設備 | ㊩ |
|---|---|---|---|

【建築物の計画に当たっての留意事項(課題公表(7/24)の再掲)】
○敷地の周辺環境や既存建築物の現状保存に配慮して計画する。
○バリアフリー、省エネルギー、二酸化炭素排出量削減、セキュリティ等に配慮して計画する。
○各要求室を適切にゾーニングし、明快な動線計画とする。
○建築物全体が、構造耐力上、安全であるとともに、経済性に配慮して計画する。
○構造種別に応じて架構形式及びスパン割りを適切に計画するとともに、適切な断面寸法の部材を計画する。
○空気調和設備、給排水衛生設備、電気設備、昇降機設備等を適切に計画する。

［注意事項］
「試験問題」を十分に理解したうえで、解答してください。
なお、建築基準法等の関連法令や要求図書、主要な要求室等の計画等の設計与条件に対して解答内容が不適合又は不十分な場合には、「設計条件・要求図面等に対する重大な不適合」等と判断されます。また、適用すべき法令については、令和８年１月１日現在において施行されているものとします。

## 答案用紙Ⅰ（Ａ２サイズの５㎜方眼用紙）の記入について

※本試験では、答案用紙Ⅰに面積表、要求図面レイアウトとも印刷されています。

### ●面積表記入の参考例 ※指定位置に算定式と算出結果を記入して下さい。(表組みは不要)

面積表(算定式は、算出過程がわかるものとする。算出結果は、小数点以下第1位までとし、第2位以下は切り捨てる。)

| | | | |
|---|---|---|---|
| 建築面積 | | (算定式) | 建築面積 ㎡ |
| 床面積 | 基準階 | (算定式) ×３層 | 床面積の合計 |
| | 2　階 | (算定式) | |
| | 1　階 | (算定式) | ㎡ |

### ●要求図面のレイアウト指定

| | |
|---|---|
| 2階平面図 | 基準階平面図 |
| 1階平面図・配置図 | 断面図 |
| | 面積表 |